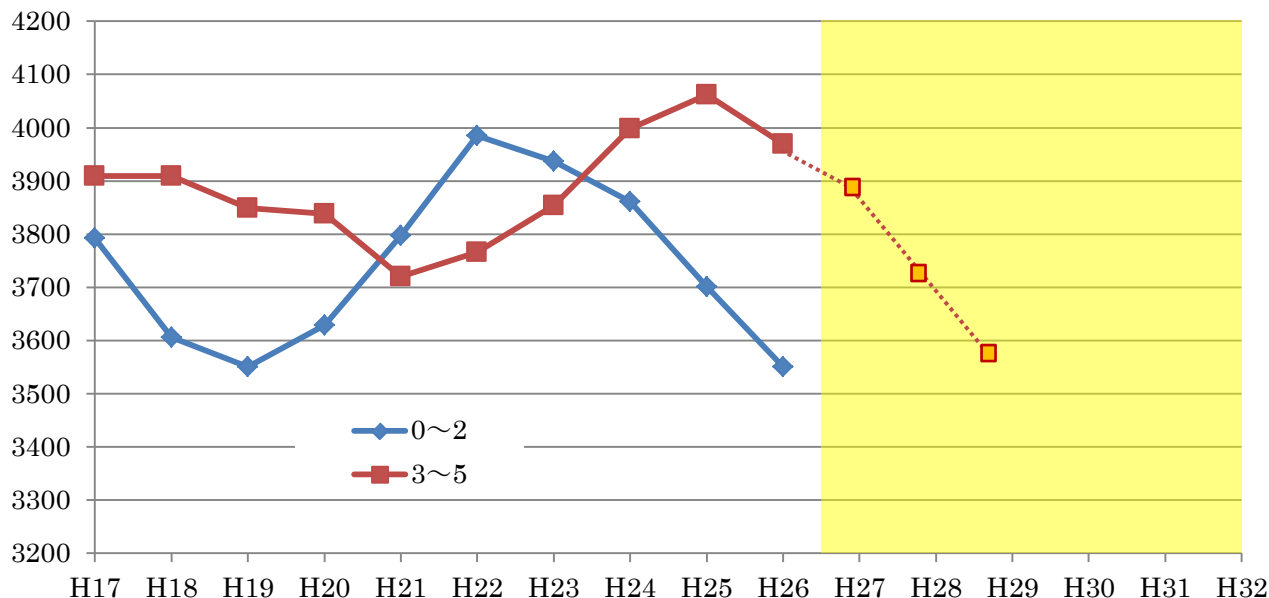


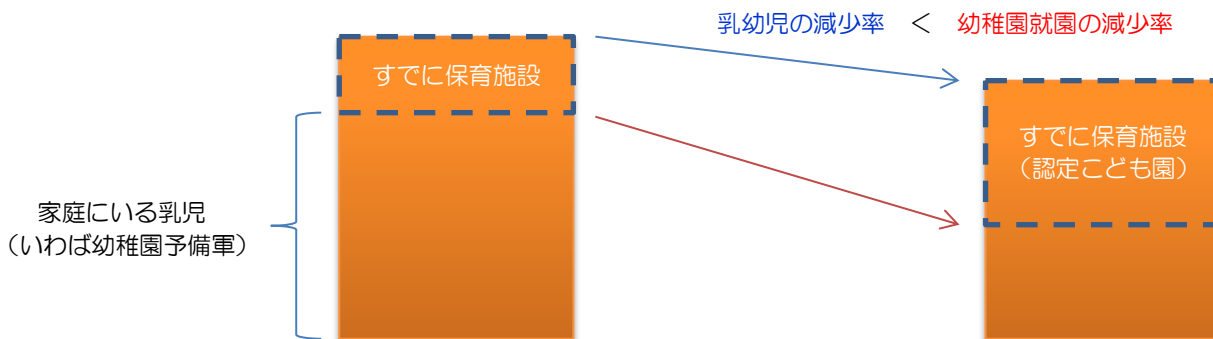
タイトル:全日私幼研修レポ(東村山市の幼稚園就園人口の予測)

各地で実際に起こっている現状と今後の予測です。予てから見通してきた懸案をグラフにしてみました。

【乳幼児人口の推移から予想される幼児人口（東村山市）】



- 現状
  - H26年までの数字は、調査に基づく実数です。
  - 乳児の人口を3年ほどスライドする事で、この先の幼児人口が予想されることは言うまでもありません。
  - H25年度をピークに、H27年度までは緩やかな減少ですが、この先はかなり大幅な減少が続く見込みです。
- 陰に潜む事実
  - H23年頃より、待機児解消促進プランとともに、市内各所に保育施設が増設されたこともあって、H24年以降の急速な減少期に、多くの乳児が保育施設に入ることが出来ました。故に、H27年以降もそのまま保育施設に残る園児が多くなると見られ、このグラフの減少以上に幼稚園への就園率が下がる事が見込まれます。
- 実際に、様々な地域で「幼稚園児がいない」という悲壮な声が聞こえてきています。少子化のペースが速い地域では、さらにこのような状況の上に、保育施設の認定こども園化（教育施設化）も加速しており、想像を絶するペースで幼稚園児の減少が始まっている現状がみられました。



東村山むさしの第一・第二認定こども園



第一・幼稚園型認定こども園  
3～5歳児・定員260名

第二・保育所型認定こども園  
0～5歳児・定員117名